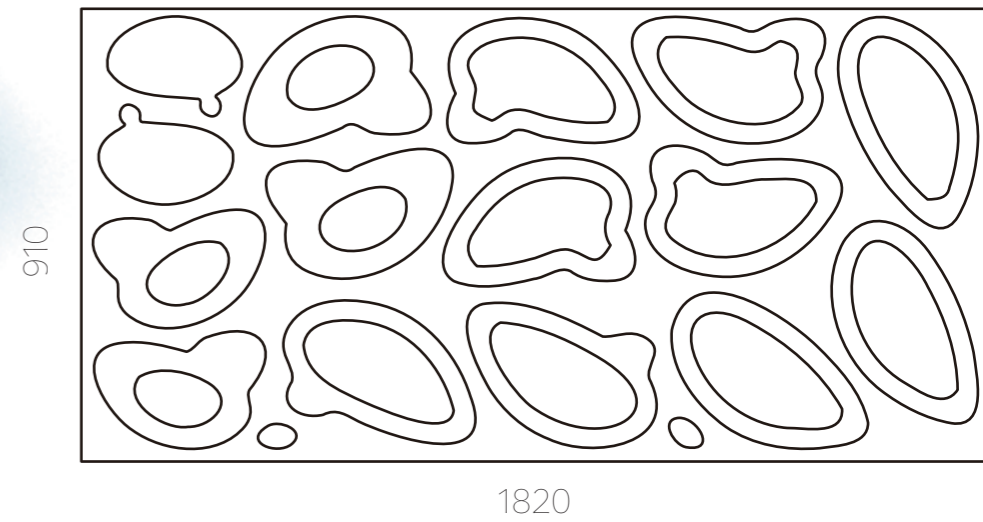
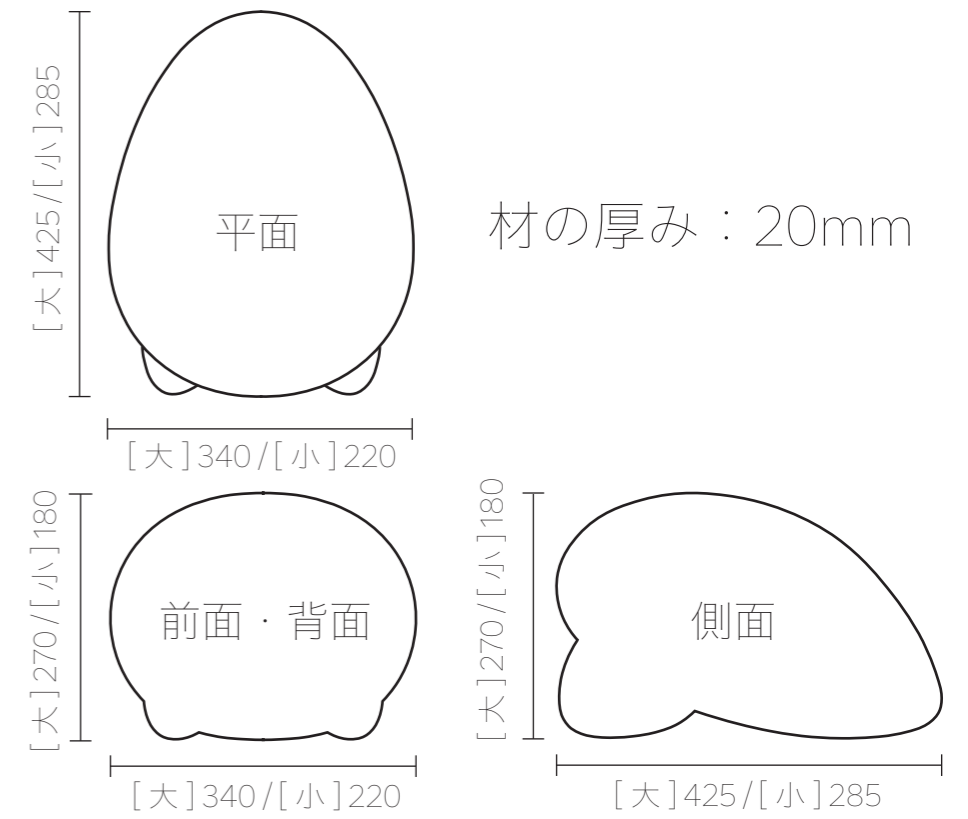


KOnoKO



「コノコ、なんにみえる？」

KOnoKO (木の子) は、子どもたちが全身で木を感じるための家具です。座ったり、抱きしめたり、登ってみたり。自由に木と触れ合えます。

また、KOnoKO に与えられた抽象的なフォルムは、子どもの想像力をより引き出したいという考えに基づいています。動物や魚、雲に宇宙船。

どのように見えるかは、子どもたちの想像力次第なのです。サイズは大と小の二種類。大きなサイズは、ある程度軽くするために内部が空洞になっています。その際に出る、切り抜かれた材で、小さなサイズを制作することができます。小さなサイズは1歳から、大きなサイズは5歳から。それぞれの年齢に適した座高に設定しています。

一つの用途にとられない、新しい家具のカタチの提案です。